

# にれ



## 校訓

- 明るい子ども
- 考える子ども
- がんばる子ども

下川町立下川小学校

学校便り

第 1 号

令和 5 年 4 月 6 日発行

## 新年度のスタートにあたって

校長 井川 健

この下川の地にも柔らかな日差しが降り注ぎ、春を肌で感じる季節を迎えました。保護者・地域の皆様には、日頃より様々な形でご支援をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

本日は着任式、始業式、そして入学式が行われました。初々しい1年生22名を迎え、全校児童113名です。さらに転入教職員5名(下記☆)が加わり、令和5年度がスタートしました。

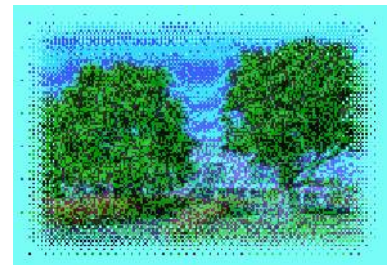
今年度も、学校・家庭・地域が連携の絆を一層深め、共に知恵を出し、汗をかくことで、子どもたちの夢や希望、目標にしっかりとした根を育てていきたいと思っております。どうぞ皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



今年度の重点目標：「自分の居場所と学びを実感する子」～どの子にも『笑顔』と『自信』を！～

※以下、今年度の重点にかかる具体的な施策です。裏面には本校の教育のグランドデザインを示しております。

- ◎ 1 危機管理のしっかりした学校
  - コロナ感染拡大再燃化に備えた遠隔授業の実証
  - いじめ防止・不登校緩和・体罰防止に関する確実な取組
  - 備品等の管理徹底
- ◎ 2 働き方改革の推進
  - 子どもや保護者と向き合う時間の確保と教職員の過労防止
- ◎ 3 教師力の向上
  - 校内・校外研修機会の充実
- ◎ 4 特別支援教育が充実した学校
  - 児童の実態にマッチした指導体制の工夫
- ◎ 5 小中連携の強化と効果的な地域連携の推進
  - 中学校教諭による乗り入れ授業の実施(高学年算数)
  - 児童・生徒の交流機会の実施
  - 授業参観機会の拡充
- ◎ 6 学力・体力の向上を本気で目指す学校
  - 学びの広場等の充実
  - 体力テスト結果を受けた授業内容の工夫
- ◎ 7 集団規律と個性の伸長を両立させる学校



## ～ 令和 5 年度 下川小学校職員 ～

校長	井川 健	教頭	佐藤 仁彦	教務主任	尾崎 智行
1年1組 ☆	石神 美咲	2年1組	久保田 基文	3年1組	松尾 裕之
4年1組	小倉 三桜雪	5年1組	伊藤 元太	6年1組	若井 旭
たいよう	中谷 愛	りんどう	浪岡 叶実	りんどう ☆	上西 悠大朗
特別支援フリー ☆	宇恵 慎哉	あすなろ ☆	勝本 真帆	たんぽぽ	水口 愛弓
養護教諭	佐々木 浩美	栄養教諭	宮崎 彩花	事務職員 ☆	三好 千恵
特別支援教育支援員	末武 久恵	特別支援教育支援員	尾形 和	相談員	黒川 美和
公務補	小坂 喜永	事務補助	野原 亜希子	学習指導員	未定
協働CO	本間 莉恵	協働活動推進員	田中 由紀子	ICT支援員	未定
A L T	ウィリアムズ・アニー	業務支援員	山下 節子	業務支援員	潮田 俊子

※ ☆については今年度着任した教職員

※ CO…コーディネーター、ALT…英語指導助手、ICT…情報通信技術

# 令和5年度 下川小学校 グランドデザイン

【本校教育の指針】  
 ・日本国憲法・教育基本法・学校教育法  
 ・学校教育施行規則・学習指導要領  
 ・北海道教育推進計画  
 ・上川教育推進の重点

〈子どもの実態〉  
 ・仲間と協力して取り組むことができる  
 ・記述力が確実に向上してきている。  
 ・学力や体力の個人差が大きい  
 ・家庭学習(読書)には課題が残る  
 〈家庭・地域の実態〉  
 ・保護者が学校やPTA活動に協力的である  
 ・地域全体で子どもを育む体制(雰囲気)が確立している  
 〈教職員の願い:子どもへつきたい力〉  
 ・自主性、主体性、自立力、工夫する力  
 ・思いやり、相手意識、自己有用感  
 ・自己選択・決定力、チャレンジ精神

【学校教育目標】  
**「今を確かに生き、未来にはばたく子どもを育てる」**  
 〈校訓〉 ○考える子ども (知)  
 ○明るい子ども (徳)  
 ○がんばる子ども (体)

【経営の基本方針】  
**「共に汗を」**

【年度の重点】  
**「自分の居場所と学びを実感する子」**  
 ～どの子にも「笑顔」と「自信」を！～

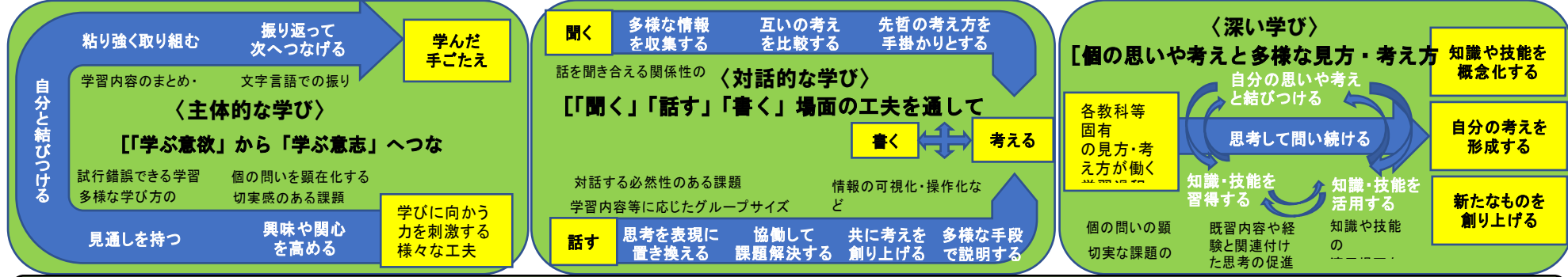
【目指す学校像】  
 ○子どもにとって「学びがいのある学校」  
 ・「わかる・できる・生かせる喜びや感動」を実感することのできる学校  
 ・自分や友達の成長がわかり、自信を深めることのできる学校  
 ・友達と共に学び、人とのつながりが実感できる学校  
 ○教員にとって「働きがいのある学校」  
 ・深い愛情をもって子どもの成長にかかわり、その成長を喜び合える学校  
 ・共に認め合い、支え合い、高め合い、実践的指導力を向上できる学校  
 ・チーム貢献力を発揮し、学校課題や重点方針に向け積極的に挑戦する組織的な学校  
 ○保護者にとって「頼りがいのある学校」  
 ・子どもの変容を実感できる学校

## 「生きる力」の育成

	考える子ども (知)	明るい子ども (徳)	がんばる子ども (体)
生きて働く 知識・技能の習得	○ <b>学び方(学習規律、話し方・聞き方、学習の進め方)を身につける子</b> ・基礎的、基本的となる知識、技能を習得する ・ICTなどを活用して、収集した情報を整理、選択し活用することができる ・情報と情報との関係について理解することができる	○ <b>自分や他者のよさに気づく子</b> ●自他のよさを認め、協力することができる ◎R5年度の重点 ・時や場、相手に応じた挨拶や返事ができる	○ <b>いろいろな運動に親しみ、技能を身につける子</b> ・早寝、早起き、朝ご飯を意識した規則正しい生活習慣を身に付ける ・運動することのよさを実感し、運動技能を高める
未知の状況にも対応できる	○ <b>自分の考えを持って粘り強く取り組む子</b> ・相手のとのつながりを意識して話し合うことができる ・ICT※1や資料などを使い、考えが伝わるように表現することができる ・互いの立場や意図を明確にして計画的に話し合い、考えを広げることができる	○ <b>自分の行動を振り返って考える子</b> ・自分の思いや考えを根拠をもって伝えることができる ・誰に対しても思いやりをもち、協力することができる	○ <b>自分の健康・安全や体力の向上について考える子</b> ●運動の楽しさや喜びを味わうことができる ◎R5年度の重点 ・運動や健康について自己の課題を解決しようとする ・仲間と協力して課題解決に向けて工夫することができる
学びを人生や社会に生かそうとする	○ <b>学びを工夫する子</b> ● <b>進んで読書をし、自分の考えを広げようとする</b> ◎R5年度の重点 ・学んだことを大切にして、広げていこうとする ・話し合い活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりすることができる	○ <b>素直(誠実)に行動する子</b> ・集団の一員としての自覚をもって行動することができる	○ <b>体をきたえる子</b> ・自己課題を振り返り、計画的に運動することができる ・健康に関心をもち、その保持増進に努めることができる

## 児童の学ぶ姿の具体

〈率先垂範〉 → 「だれ一人取り残さない授業に向けて」 ← 〈学び続ける教師〉



【各教科】 【特別の教科 道徳】 【外国語活動】 【総合的な学習の時間】 【特別活動】

●あいさつができ、どの世代の人ともコミュニケーションをとることができる。 ◎R5年度の重点

情報の発信・受信 P(Plan) D(Do) C(Check) A

〈家庭との連携〉  
 〈保護者〉  
 ・参観日、個人(保護者)懇談、表札訪問、行事参加  
 ・スキー協力  
 ・保護者アンケート、生活リズムチェックシート  
 【家庭教育に向けた連携】  
 ☆子どもの話への傾聴、努力への称賛、安全への声かけ  
 1 挨拶や社会的ルールの徹底  
 2 望ましい生活習慣の形成(早寝・早起き・朝ごはん)  
 3 家庭学習や読書・ICT活用への環境設定及び習  
 〈PTA〉  
 ・保護者間連携の構築

〈地域との連携〉  
 〈コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)〉  
 ・経営方針の承認、学校運営及び教育活動への意見等  
 ・学校評価を受けての意見等(地域学校協働本部との連携)  
 〈地域ボランティア〉〈NPO 森の生活〉  
 ・安全見守り、環境整備、読み聞かせ、体力測定、雪山造成  
 ・ほんわか教室(総合:講師)  
 ・森林学習 総合的な学習の時間(講師:森の生活)  
 〈地域の教育資源〉  
 ・社会見学、校外学習(工場、店舗、公共施設等)  
 ・クラブ活動(地域人材講師)、学びの広場(社会教育講師)  
 ・交通安全教室、防犯教室、避難訓練、薬物乱用防止教室、情報モラル教室、租税教室、人権教室(関係機関・団体講師)  
 ・地域行事(鼓笛〜うどん祭り、4年音楽〜町文化祭)

〈校種間の接続〉  
 〈こども園〉  
 ・アプローチとスタート両面での接続(指導者間連携)  
 ・学習発表会児童公開日への招待  
 ・低学年生活科「おもちゃ広場」への招待(交流学习)  
 ・一日入学(1年生との交流学习)  
 〈中学校〉  
 ・町教研での授業交流(参観日・町教研大会等)  
 ・町教研による小中連携推進(教務、研修、生徒指導、健康、体育、事務)  
 ・乗り入れ授業の実施(算数少数指導・英語・体育ほか)  
 ・特別支援学級の交流学习  
 〈特別支援学校〉  
 ・パートナーティーチャー要請訪問・助言(商業高校)

